

製品安全データシート

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館
製造者情報	担当	MSDS 担当者
	電話番号	(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801
	会社	Chevron Phillips Chemical Company LP
	住所	10001 Six Pines Drive The Woodlands, TX 77380 テクニカルインフォメーション +(800)852-5531

整理番号 03921

改訂：平成 24 年 1 月 23 日

 製品名（化学名、商品名等） Synfluid[®]PAO 2cSt

物質の特定

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名	1-Decene,Dimer, Hydrogenated
成分および含有量(wt%)	100%
別名	Polyalphaolefin, PAO
官報公示整理番号	(6) -1109
安衛法	非通知対象物質
PRTR 法	対象外
C A S No	68649-11-6
国連分類及び国連番号	該当しない

危険・有害性の分類

分類の種類	: GHS 分類
物理化学的危険性	: 区分外または分類対象外
健康に対する有害性	: 急性毒性 吸入 区分 4 吸引性呼吸器有害性 区分 1
環境に対する有害性	: 区分外または分類対象外
シンボル	:



 応急措置

一般的アドバイス	: 危険域から避難させる。 この安全シートを担当医に見せる。 被災者を一人にしない。 本物質を飲み込んだりはいたりした場合、生命にかかわる可能性のある深刻な肺炎を引き起こすことがある。
吸い込んだ場合	: 皮膚についた場合水で十分にすすぐ。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。 皮膚の炎症が継続する場合は医師に連絡すること。
目に入った場合	: 念のため水で眼を洗浄する。コンタクトレンズを外す。 損傷していない眼を保護する。洗眼中は眼を大きく開ける。 目の炎症が止まらない場合は専門医に相談する。
飲み込んだ場合	: 気道を確保する。無理に吐かせないこと。 症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。

 火災時の措置

引火点	: 160°C (Cleveland Open Cup)
自然発火温度	: 324°C
消化剤	: 霧状水、泡、ドライケミカルまたは二酸化炭素 (CO ₂)
使ってはならない消火剤	: 大型棒状の水
消化を行うものの保護	: 必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。
火災および爆発の防止	: 標準的な防火方法
危険な分解生成物	: 炭素酸化物

 漏出時の措置

人体に対する予防措置	: 保護具を使用する。十分な換気を確保する。
環境に対する予防措置	: 製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、漏れやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は関連当局に連絡する。
除去方法	: 不活性の吸収材(砂、シリカゲル、完成接着剤、汎用接着剤、おがくず)で吸収させる。 適切な密閉容器に入れ、廃棄する。

 取扱い及び保管上の注意

安全取扱	: 蒸気/粉じんを吸い込まない。個人保護については項目「暴露および保護措置」を参照する。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。洗浄水は、関係諸法規に従い処分する。
火災および爆発防護に関するアドバイス	: 標準的な防火方法

保管 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

暴露および保護措置

皮膚の保護具 : 不浸透性の保護衣で皮膚への接触を避ける。保護衣には手袋、エプロン、ブーツ、顔面保護具などを含み、作業の内容によって選択する。使用者は保護衣の性能の特徴を確認しておく必要がある。物理的要求と他の取り扱い物質により保護衣を選択する。推奨する保護手袋の材質：テフロンまたはバイトン

眼/顔の保護 : 使用状況によって位保護メガネ、ゴーグルまたは顔面シールド等の保護具を着用する。

呼吸器の保護 : 通常の使用環境であれば呼吸の保護は特に必要がない。もしもオイルミストが発生するような場合、空气中濃度が OSHA 許容リミット (PEL) の 5 mg/m^3 (ミネラルオイルミスト)を超えるかどうかを判定し、超える場合は NIOSH 認可の十分な保護が可能な呼吸器を装着する。濾過式呼吸用器具の場合は粒子状物質用カートリッジを使う。

許容濃度 : 確立されていない

 物理/化学的性質

外観	: 透明、無色、無臭の液体
pH	: NA
沸点	: 55°C
凝固点	: -73°C
蒸気圧(mm)	: <1mmHG @75°C
蒸気密度 (空気=1)	: 9
溶解度	: 炭化水素溶媒に可溶、水に不溶
密度	: 6.64lb/gal
粘度	: 5.1cSt@40°C
比重	: 0.797@15.6°C

 危険性情報 (安定性及び反応性)

化学的安定性	: この物質は通常環境、保管、取扱い、温度、圧力下で安定と考えられる。
混触危険物質	: 酸素、強酸化剤 (塩素酸塩、硝酸塩、過氧化物など)
その他	: 危険な分解生成物、重合物などはなし

 有害性情報

急性経口毒性	: LD50 : >5ml/kg 種:ラット 性:指定なし
急性吸入毒性	: LC50 : 1,17 mg/l 暴露時間:4hr 種:ラット
急性経皮毒性	: LD50:>3g/kg 種:ウサギ 性:指定なし
皮膚への刺激	: 皮膚への刺激なし
眼への刺激	: 眼への刺激なし
感作	: 動物実験では感作性なし
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。ヒトに対する吸入毒性危険有害性が既知であるか、この危険有害性を引き起こすかのようにみなされている物質。

 環境影響情報

魚毒性	: LL50: > 1.000 mg/l
曝露時間:	96 HR
種:	Oncorhynchus mykiss (ニジマス)
半静止試験 被験物質:	該当
この物質は、テスト媒介中では溶解性は低い。水分散がテストされた。	
ミジンコ他の水生無脊椎動物に対する毒性	: EC50:>1.000 mg/l
曝露時間:	48 HR
種:	Daphnia magna (オオミジンコ)
止水式試験 被験物質:	該当
この物質は、テスト媒介中では溶解性は低い。水分散がテストされた。	

藻類に対する毒性 : EC50: > 1.000 mg/l

曝露時間: 72 HR

種: *Scenedesmus capricornutum* (淡水産藻)

止水式試験 被験物質: 該当

この物質は、テスト媒介中では溶解性は低い。水分散がテストされた。

ミジンコ他の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 観察可能な効果濃縮なし: 125 mg/l

曝露時間: 21 TEN

種: *Daphnia magna* (オオミジンコ)

被験物質: 該当

この物質は、テスト媒介中では溶解性は低い。水分散がテストされた。

生分解性 本質的に生分解性を有すると考えられる。

廃棄上の注意

この MSDS 情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は RCRA (40CFR261) に基づき米国 EPA に定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 廃棄物を下水へ流してはならない。

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

認可された廃棄物管理会社に送る。

汚染した包装 : 残りの容器を空にする。未使用製品として処分する。空の容器を再使用しない。

輸送上の注意

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない (規制の定義を参照)。

詳しい輸送説明要件 (専門的名称など) については、適切な米国内モードまたは国外モードに特有、および量に特有の危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は、本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。本物質の引火点は、MSDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

US DOT (United States Department of Transportation)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

IMO / IMDG (International Maritime Dangerous Goods)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されていない。

IATA (International Air Transport Association)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されていない。

ADR (Agreement on Dangerous Goods by Road (Europe))

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されていない。

RID (Regulations concerning the International Transport of Dangerous Goods (Europe))

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されていない。

ADN (European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されていない。

適用法令

消防法 : 引火性液体 危険物第四類第三石油類 危険等級Ⅲ

その他の情報

このMSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていたために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用されるキーまたは凡例から略語や頭字語まで

ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム
CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質インベントリー
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	米国労働安全衛生局
	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性

GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENC5	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な 反応生成物及び生物物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度		

その他

- 参考文献
- 本製品の英文 MSDS : ChevronPhillipsChemical Company LP
 - 本製品の日本語MSDS : シェブロンフィリップス化学株式会社
 - 製品安全データシートの作成指針 : 日本化学工業協会
 - 化学便覧 : 丸善
 - 化学大辞典 : 東京化学同人
 - 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ: 化学工業日報社
 - 化学品安全管理データブック CD-ROMver.2.0 : 化学工業日報社
 - 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
 - 化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ: 化学工業日報社

作成 : 平成 24 年 1 月 23 日

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。